

RKU Today

流通経済大学広報誌 vol.8

[特集] *All about*
RKU WEEK



'T's Mail box'
W. 24th St. Los Angeles.
Goro.

流通経済大学

SUMMER 2009

CONTENTS

RKU Today vol.8
Summer 2009

表紙イラスト：佐々木悟郎

[特集]

04 All about RKU WEEK

文：田畑 亨（スポーツ健康科学部講師）

[学長室だより]

08 大学は誰のものか

小池田富男（流通経済大学長）

[RKU新入生へのメッセージ]

10 常に挑戦者たれ。 そして成し遂げよ。

渡邊佳昭（校友会副会長）

Close Up!

12 流通経済大学 [教職員紹介]

コラム [馬場啓一のRKUウォッチング]

14 清水建設株式会社 石原政幸さんに聞く スポーツ健康センターを手掛けて

[OB/OG訪問] 立川が聞く

16 田中錦城さん（1982年卒業・株式会社ケイネット代表取締役）

取材：立川和美（社会学部准教授）

[留学生紹介]

18 金民智さん（韓国出身）

「学生アドバイザーとして大学の魅力を伝えたい」

取材：齋藤 明（総務課）

19 新任教職員紹介

20 2009年度後援会総会報告

22 NEWS & TOPICS

巻頭言

夏になると60余年前の太平洋戦争のことが話題になる。

本学の学生にとって、遙か昔の事柄であり、今や歴史になっている。遠い存在に違いない。

しかし我々は歴史から学ぶことを怠ってはいけない。歴史は師であり、道標となる。

長い夏休みという特権を有する学生にとり、自由な長い時間は読書にあるようなものである。

本学の学生として恥ずかしくない知識と教養を身に着けるため、

この夏休みは歴史の書物を紐解くことを薦める。

太平洋戦争を始めとする日本の歴史であれ、西欧のそれであれ、

はたまた世界の歴史であれ、領域は問わない。

書物によって広く歴史の世界に身を委ね、そこから何事かを得、

来し方行く末に、想いを馳せてもらいたい。

そのことで、一生忘れられない夏休みとなるだろう。



龍ヶ崎キャンパス図書館



今年のテーマは「一歩前へ」

今年度も桜満開の中、国内外から約一四五〇名の新入生が希望と不安を抱えながら流通経済大学の門を叩いた。そして、入学式の翌日から一週間に及ぶ「RKU WEEK」がスタートした。「RKU WEEK」の開催趣旨は三つ挙げられる。

- 1 新しい仲間との親睦を深める
- 2 4年間の勉強計画を立てる
- 3 自分自身を見つめ直す

この三つの柱について、副センター長である桑野先生は、

これからのキャンパスライフをフライトに例え、大学入学を期に大学生活へとテイクオフし、「RKU WEEK」というプログラムを通して、これから四年間にわたる長期フライトを順調に飛行し、学生自身の「目標」という地に向かってソフトウェアデザインングしてもらったためのきっかけづくりにしてほしいという思いがあると語る。そのためにはまず、入学直後の一週間という期間で、自分自身をもう一度再確認し、しっかりとした学習計画を立て、共に学ぶ仲間と交流・親睦を深め、そして「一歩前へ」歩いていってほしいと佐藤センター長は語る。

この様な思いが詰まっているプログラムが「RKU WEEK」である。



桑野副センター長(左)、佐藤センター長(右)



【特集】All about RKU WEEK

流通経済大学では毎年4月に「RKU WEEK」と題して新入生向けのオリエンテーションを実施しています。今号の特集では、1週間にわたるこの「RKU WEEK」の全貌をご紹介します。

文：田畑 亨（スポーツ健康科学部講師）

教員と学生と一緒に昼食をとりながらのゼミナール



まだまだ、大学生活のリズムが整う間もなく一時限開始時刻の九時に新入生は大学に集合する。「RKU WEEK」の概要について説明を受けたあと、入門ゼミが実施された。本学の教育理念にも掲げられている少人数教育によるゼミナールの実施である。

まだまだ緊張の糸が解けぬまま、学生は先輩学生の誘導に従い教室の席につき、ゼミ担当の教員を待つ。ゼミ担当教員も今年はどうな学生がいるのか、期待に胸を膨らませながら教室へと向かう。

入門ゼミでは、教員と各学生との自己紹介が主な内容である。このゼミの特徴は教員と学生と一緒に大学が用意した昼食をとりながら行うことだ。昼食をとりながらゼミを行うことで、早期に学生の緊張を解くこと、「大学の先生」という存在を身近に感じてもらうことが目的であると、佐藤

五学部八学科を有する流通経済大学では、全国各地・世界各国から約一四五〇名の新入生を迎え新年度をスタートした。これまで本学では、宿泊型オリエンテーションや、船を一隻貸し切ったの船上オリエンテーションの実施など、入学直後のオリエンテーションキャンペーンを実施してきた。三年前からは、これまでのオリエンテーションを発展・拡大「RKU WEEK」と題して一週間にわたる、新入生向けのオリエンテーションを実施してきている。この取り組みは、入学前までの不規則な生活リズムを正常に戻すためのものであるが、なんといっても新入生がいち早く「流経大生」となってもらうことが一番のねらいである。

そこで、今回の特集は、本学の新生オリエンテーションである「RKU WEEK」について本プログラムを統括する教育学習支援センター長・佐藤尚人先生(社会学部教授)と副センター長の桑野佳明先生(経済学部教授)のインタビューを交えて紹介していく。

センター長は語る。ゼミによっては教室から離れ、青空の下、授業を行う。次第に学生は、緊張の糸も解れようやく笑顔がこぼれるようになってきた。





流経大色、色々 ——課外活動の紹介

大学入学後の楽しみの一つに課外活動がある。本学では、スポーツ系の部活・サークル、文化系の部活・サークルが活動している。中には、日本一を目指す部があったり、「楽しさ」を追求するサークルなど、その数四〇以上。まさに、流通経済大学は課外活動が盛んな大学であるといえる。この場では、多くの先輩学生がステージに上がり、我が部・サークルのアピールを手を変え品を変え行っていた。この時ばかりは、教員の話聞く時よりも、熱心に先輩学生の話やパフォーマンスを見入っていた。



自分自身の将来について計画を立てる 学部・学科ガイダンス

学生と教員が顔を合わせた翌日は、それぞれの学部・学科に分かれてのガイダンス。ここでは、各学部・学科の全教員が一堂に会し、教員が自身の専門領域についての紹介をする。また学部・学科の教育方針やカリキュラム、取得可能な免許等の説明を受け、これから四年間の学習計画や目標を設計する。学生は、自分の将来に向け個々の思いを募らせながら、真剣に教員、職員の話聞いていた。



世界の扉を開く、 国際交流センター ガイダンス

本学はアジア諸国を中心に多くの留学生を受け入れ、学ぶ場を提供している。また、世界各国の大学と協定を結び、海外留学・語学研修プログラムを用意している。長期休暇になると、多くの学生がこのプログラムを利用し海外に出て、語学研修を行っている。このガイダンスでは、そういった海外研修プログラムを利用して帰国してきた先輩学生が、新入生に、自らの体験を話すプログラムである。また先輩留学生が、自国の民族衣装を身にまとい、自国の文化を紹介するなど、留学生との交流の場となった。

自分自身を再確認、 RKUワークショップ



入学式から約一週間。学生の緊張も解れ、大学生活にも慣れ始めてきたころ、最後のプログラムとして「RKUワークショップ」が行われた。これは、「ポジティブな自分づくり」と題し、これからのキャンパスライフ、授業、クラブ活動、仲間づくり等々に前向きに、意欲的に、そして期待感を持って過ごせるように組まれたプログラムである。これからキャンパスライフを共にする仲間と一緒に自分・他人を考え、ディスカッションしながら、自分自身をもう一度見直していた。



毎年、学生に配布される「RKU WEEK GOODS」。学生生活に関する本やキャンパス周辺の情報など様々である

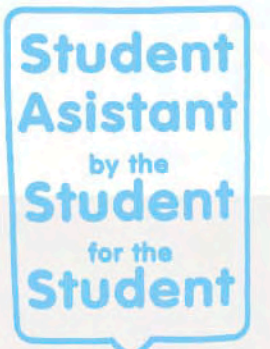
「RKU WEEK」は、一週間にわたる新入生オリエンテーションである。このオリエンテーションには、流通経済大学の全教職員・そして先輩学生が係わり、新入生を迎えるプログラムである。しかし、このプログラムを一週間で終わらせるのではなく、これからの大学の授業にスムーズに生かして、「RKU MONTH」↓「RKU YEAR」と学生が充実したキャンパスライフを送れることが、この「RKU WEEK」の本当のねらいであると、桑野副センター長は語る。



「RKU WEEK」を支えるSASSの存在

SASS(The Student Assistants For the Students By the Students at RKU)とは、流通経済大学オリジナルの学生組織である。「RKU WEEK」では様々なプログラムが用意されているが、それらのプログラムが円滑に進んだのも、このSASSの存在がとて大きかった。彼らは、右も左もわからない新入生に対して、各会場への誘導や、履修方法、キャンパスライフ等々、様々な場面で「流経大の生の声」で新入生のサポートにあっていた。

また、「RKU WEEK」期間中、不都合が生じた時でも、SASSの学生がリーダーシップを発揮して素早く問題解決を図り、円滑にプログラムを遂行していた。この様な光景を見ていた新入生の中からは、早くもSASSに入りたいという学生も出るほどであった。





大学は誰のものか

流通経済大学長 小池田富男

流通経済大学長 小池田富男 略歴

- 1949年 石川県生まれ
- 1976年 3月 東京大学大学院経済学研究科 博士課程満期退学
- 1976年 4月 流通経済大学 経済学部専任講師に就任
- 1988年 4月 流通経済大学 経済学部教授
- 2001年 4月 流通経済大学 経済学部長
- 2001年から現在 学校法人日通学園理事に就任
- 2008年 11月 流通経済大学 学長に就任

専門分野
経済学史、経済思想、社会経済学

- 代表的著書
- 『貨幣と市場の経済思想史—イギリス近代経済思想の研究—』(流通経済大学出版会、2009)
 - 『市場社会論の構想』(社会評論社、1995)

学長の活動(2009年4月～6月)

- 4月 1日 入学式
- 4月 2日 RKU WEEKシンポジウム
- 4月 7日 附属柏高等学校入学式
- 4月 14日 学部長会議、入学入試協議会
- 4月 21日 全学教員会議
- 4月 28日 大学協議会
- 5月 11日 中国 海南大学訪問 教育及び学術交流協定の締結
～14日
- 5月 16日 神田外語大学記念式典
- 5月 21日 韓国マーケティング学会会長 Eunju Ko 先生一行来訪
- 5月 25日 塩田庄兵衛元教授お別れ会
- 5月 26日 理事会評議員会
- 5月 29日 全国体育大学学長・学部等会議(九州共立大学)
～30日
- 6月 4日 三郷北高校、浦和学院高校訪問
- 6月 5日 高等教育振興に関する懇談会(新松戸キャンパス)
- 6月 6日 保育士担当教員懇談会(新松戸キャンパス)
- 6月 9日 学部長会議、全学教員会議
- 6月 11日 市立柏高校、市立松戸高校訪問
- 6月 16日 教員免許更新講習実施委員会
- 6月 18日 進研アド大学経営シンポジウム
- 6月 27日 附属柏高等学校父母の会講演
- 6月 30日 大学協議会

のでも、また学生や卒業生のものでありませぬ。おそらく「社会のもの」という表現が最も適切なのでしょうが、しばしば、私物化とまでは言わないにしても、「創業者一族」があたかも家業のように大学を経営するという事例がないわけではありませぬ。

しかし、学校法人の根本規程を「寄附行為」という言葉で表現しているように、

私立学校はもともと篤志家による財産の寄附によって設置され、建学の理念にもとづく教育事業によって社会に貢献することを目的に

した公共的存在に他なりません。したがって、私学といえども国立大学法人と同じように国からの助成を受けるのも当然のことであり、また「建学の理念」が実現できないことにならば、存続させる理由もなくなるわけですね。だからこそ、本学の教育、研究力を更に高め、それを広く社会に広報していかなければならないものと考えております。



昨年一月に学長に就任して、七カ月が過ぎました。ここ四、五年はおそらく本学が設立されて以来の最も厳しい環境になるものと覚悟しておりましたが、現実の動きは予想よりも更に速く、より深刻さを増しているようにさえ思います。

全国に五九〇ほどある四年制の私立大学のうち半数以上がすでに定員割れを起すし、毎月のようにいくつかの大学が来年度から募集停止をするとのニュースが流れてくる中で、二〇〇九年度入試において一〇〇名近い入学者を増加させることができた本学の底力には、

頼もしささえ感じております。そしてこういう時にこそ、もう一段階上を目指し、実学教育とリベラルアーツによって産業界に有為な人材を育成するとの本学の「建学の理念」に立ち返りながら、社会に向かって存在感を一層高めていくこと

が必要ではないかと思っております。

ところで、「企業は誰のものか」というコーポレート・ガバナンスにかかわる問題提起に例えて言えば、学校法人としての大学は、設置者のものでもなければ、またそこで働く教職員のも



話させていただきます。お話しするテーマは「成功」ということについてです。なぜか。それは、諸君たちが本学へ入ったからには、諸君たちの人生がうまく行って欲しいと熱望しているからです。さて、この世の中には、成功したくないと思ってる人はいないと思います。今まさに「自分は前途洋々である・絶対成功してやろうと青雲の志を抱いてそこに座っておられる」と思います。しかし、まず最初に、【成功とは何かあるいは成功者とは何か】をきちっと定義しなくてはなりませんね。それが大学生になった諸君たちに必要な基本でしょう。

本来なら、諸君たちにつくりと問いかけてみたいところですが、私に与えられた時間は五、六分ですので、私から言ってしまう。よく聞いてください。【成功とは自分が成し遂げたと思ったことを成し遂げたこと】をいうのであります。加えて、「自分がいついつまでに成し遂げたいとしたことを、その希望したタイミングのうちに成し遂げていった人を大成者という」ということになると思います。これは私流の定義ですが、ここで、賢明なる諸君たちの胸中に大問題が生じた可能性があるのではないのでしょうか。この定義では、成し遂げたいという何かが決まっていなくて成功という入り口にも立っていないということになるんです。そこで、お勧めしたいことを申し上げます。それは、この四年間で、自分の未来史を作って欲しいということです。昨年はやったアンジェラ・アキの歌のようなわかりやすい言い方をすると、未来の自分に手紙を書くというイメージです。紙を用意して左側に五年ピッチで年号とそのときの自分の歳を書き、その横に自分がその年であったという自分の姿を書き記して

人間いくつになっても挑戦者でなくてはならないと申し上げます。自分の未来史に自分の挑戦したい自分の映像を、明確に記述してみましょう。

くのです。諸君たちの中にサッカー選手がいたとしますと、二〇一二年・二二歳と書いた横に関東リーグで優勝し得点王になったと書き、二〇一七年・二七歳のところで全日本の代表、二〇二二年・三二歳のところにワールドカップに出場・日本優勝の立役者になったというふう具体的に書くのです。その書いたもののスケールが大きければ大きいほど成功の度合いは大きくなります。自分自身の経験から言うのですが、本当におかしなもので、このように書かれた未来史は、見事に本当に実現してしまうんです。私が大学を卒業した頃に作った私の未来史の中の六〇歳の遺暦のところには次のような記述があります。そこにはこう書いてあります。六〇年の経験の中からそれらをふるいに懸けおのが余生を掛ける事業を発掘し、新たな挑戦を始める。私は、本年より自宅から三〇分くらいのところにある

る専門学校に入学します。東洋医学を学ぶことにしました。まさに、諸君たちと同じスタートラインについてことになるわけです。三年後、そのとき私は六四歳になっていきますが、鍼灸の国家資格をとります。四年後、私は校友会の会長になっていくのでしようから諸君たちの卒業式で祝辞を申し上げ、その中で、鍼灸士の国家資格を取ったことをご報告することを約束します。終わりにあたり、人間いくつになっても挑戦者でなくてはならないと申し上げます。自分の未来史に自分の挑戦したい自分の映像を、明確に記述してみましょう。さすればそれは成し遂げられ、邯鄲の五十年は価値ある五十有余年になることをお約束します。祝辞の締めくくりとして、諸君たちには、大きくわれわれ先輩たちを追い越していくことを望みます。四年間を有意義に過ごしていただくことを期待して、祝辞を終えます。

渡邊から一言

私の信念：いつも前向き。絶対うまく行く。そして「最後に勝つのはオレだ。」昭和45年RKU卒業後、上記の信念が揺らいだことはない。不遜な言い方を許してもらえばRKU在学・卒業の全ての者において、このような信念こそ、ライバルたちに一歩いや頭一つでも抜き出る決め手になると思っている。是非一緒に頑張ろうではないか。

常に挑戦者たれ。そして成し遂げよ。

流通経済大学校友会 副会長 渡邊佳昭

4月1日、龍ヶ崎キャンパス講堂にて挙行された2009年度入学式の中で、校友会副会長の渡邊佳昭氏からいただいた祝辞は、新入生たちにとって示唆に富んだ素晴らしいメッセージでした。そこで本誌では、渡邊氏のご了解をいただき、ここにその全文を掲載することといたしました。



校友会副会長の渡邊です。本日はご入学おめでとうございませぬ。校友会は本学の卒業生三万を超える校友で構成されている団体です。従って、ゆくゆくは皆さんも入っていただき、諸君たちの力で校友会と一緒に盛り上げて頂くことになるわけですね。

さて、先ほど、皆さんに「ご入学おめでとうございませぬ」と申し上げましたが、実は、私には、ある感慨を抑えられないものがあるのです。そのある感慨とは何か。私は一九六六年入学の二期生なので、私が皆さんと同様、四四年前の今日、この大文字山が上がってきたとき、ここには二百余名の一期生しかいなかったのです。

私は本学を卒業して茨城県日立市を発祥の地とする日立製作所に入社いたしました。入社して職場に配属されたときの自己紹介で「私は流通経済大学出身であります」と言ったとき、職場の先輩たちの目が「あれそんな大学あったっけかな」

という感じになったことを今でも覚えております。爾来四〇年。われわれも頑張りましたし、本学もスポーツ面や学問のエリアで名を上げ、実業の世界でも流通経済大学の名前は既に不動のものとなっております。

諸君たちが四年後ここを巣立つときは三万六〇〇〇名を超す校友（卒業生）がいろいろな方面で活躍していますから、自己紹介などで諸君が「私は流通経済大学出身の何某であります」と言っても人はいぶかるような目では見ることはありません。私は自信を持ってそう申し上げます。先ほどある感慨を持つておめでとうと申し上げると言ったのはそういうことであります。

私は日立製作所のコンピュータ部門の部長となり関連会社の役員まで勤め上げて、現在は、自分でIT系の会社を立ち上げ、その社長をしております。本日はエイプリルフルですが、今から真面目に今まで私が考え実行してきたことをお





[国際交流課第一係長]

岡田理加

十数年前から趣味として山歩きをしている。最初は単に自然を楽しみたいという程度であったような気がするが、次第に、体力維持やストレス解消、スリル体験などという目的に変化してきた。足が震えるような稜線歩き、暴風雨や雷雲の中に突入、足を滑らせ命綱に救われたなどなど、平穏な日々の中では遭遇しにくい健康的なドキドキ感を味わっている。

仕事と山歩きの経過はどことなく似通っている。初期の頃は、先輩に教えてもらいながら知識を徐々に身につけていく勉強期間。次は自分なりに情報を集め工夫し発展させていく。そして最近では、現状維持の傾向で未知の山にチャレンジしたいと思いつつ同じ山に行く回数が増えている。

数年前、ある中学校の登山実習のガイド補助をしたことがある。山の経験がない中学生たちの体調・安全に気を配りつつ無事下山までの8時間は非常に長く感じられたが、自分自身にも得難い経験となった。時々思い出しては井の中の蛙の自分を自戒している。

仕事と山歩きの共通点とは



[スポーツ健康科学部]

小粥智浩 講師

静岡県出身。国立スポーツ科学センタースポーツ医科学部研究員を経て現職。自らの怪我をきっかけにトレーナー活動に興味を持ち始めた。本学への着任と同時にトレーナーチームを発足し、トレーナーの育成にあたり、運動部活動のサポート活動を行っている。

怪我をした選手は、絶望感を感じてしまう。しかし近年のスポーツ科学の進歩により殆どの怪我は治療し回復することが可能になってきた。だから、「トレーナーは、絶望感を感じた選手の身体を回復させるだけでなく、心をいち早く和らげ、「笑顔」にすること、さらには怪我をしない身体づくりの指導が必要である。また、トレーナーは怪我をみるのではなく、「人をみる」と学生に対して指導を行っている。だから、先生は常に「笑顔」で学生と接し、また学生からの人気も高い。

近年ではU-15～17サッカー日本代表の遠征の帯同や、日本ライフセービング協会でのコンディショニング科学委員会委員長も務め、スポーツ界に「笑顔」を増やしている。(田畑 亨・記)

トレーナー育成でスポーツ界に「笑顔」を増やす



[法学部]

横田耕一 教授

最近、学長などと同行、中国は海南島の海南大学を訪問、本学との学術交流協定調印に立ち会った。横田耕一先生である。我が流通経済大学の誇る「憲法」の泰斗だ。

「法学部が創設された1年後に赴任しましたから都合7年いたのね。で、今年で70歳なので定年。でも新たに本年から「特例教授」となって『憲法』を教えています」

まことに法学部の至宝である。「大勢の教え子たちが巣立っていきました。流通経済大学という名前に誇りを持って欲しいですね」

趣味は演劇鑑賞。驚くほどよく沢山の舞台をご覧になっている。

「なるべく多くの作品に接したいと思っています。若い頃から大好きでしたから」

益々お若く、澆刺とされているのは、舞台からエネルギーを貰っているからかもしれない。

(馬場啓一・記)

流通経済大学という名前に誇りを持って欲しいですね



[流通情報学部]

山岸寛 教授

私は、国の政策と海運業、航空業との関わりに興味があり、現在は、物流ターミナル論を担当しています。ここでは、空港や港といったターミナルを、いかに効率よく運用するかを世界から考えるといった、企業の国際化が進む社会で必須の事項を扱います。まず、世界全体から物事を眺め、それをアジアやアメリカといった地域、そして個々の国、さらに企業の単位までに狭めて考えていくという方法は、これからの研究には必要だと考えています。

国際競争力を高めるためには、メガキャリアとメガターミナルの両立が大切な時代です。これは、ハブとなる大きな空港や港を中心とし、そこから小さな空港や港へと物が運ばれていくという仕組みです。残念ながら、成田や羽田は世界のハブ空港とはなっていません。また海運についても、2000年前後から中国や韓国に大きな港が出来、アジアの伸びが著しいですね。

学生諸君には、あらゆる物事に対してあきらめず、失敗してもがんばりぬく力を持ってほしいと思っています。

(立川和美・記)

世界から物事をながめることが大切です



[社会学部]

田中光 准教授

大学生時代の私は、体操の練習に明け暮れていました。今でも技を習得するために切磋琢磨して過ごした日々をわすれはしません。簡単にマスターできる技もあれば、2～3年かけて作り上げる演技もあります。

練習は楽しいことばかりではありません。ケガをして、痛みに耐えて行う過酷な修行のような日も幾度とありました。苦勞すればするほど、その目標をクリアしたときの達成感は大いものです。素晴らしい感動体験が待っています。

何百種類もの系統の違う技を練習します。脚力、支持力、瞬発力、敏捷性、持久力、柔軟性と幅広い技能を必要とします。得意なことだけを行っているのは、大会で上位に入ることはできません。男子は6種目、女子は4種目の合計により、結果は総合的に判断されます。人間には得手、不得手があります。苦手なことをクリアするのは容易ではありません。まさに「克服のスポーツ」です！

克服のスポーツ、体操



[経済学部]

梅木真 准教授

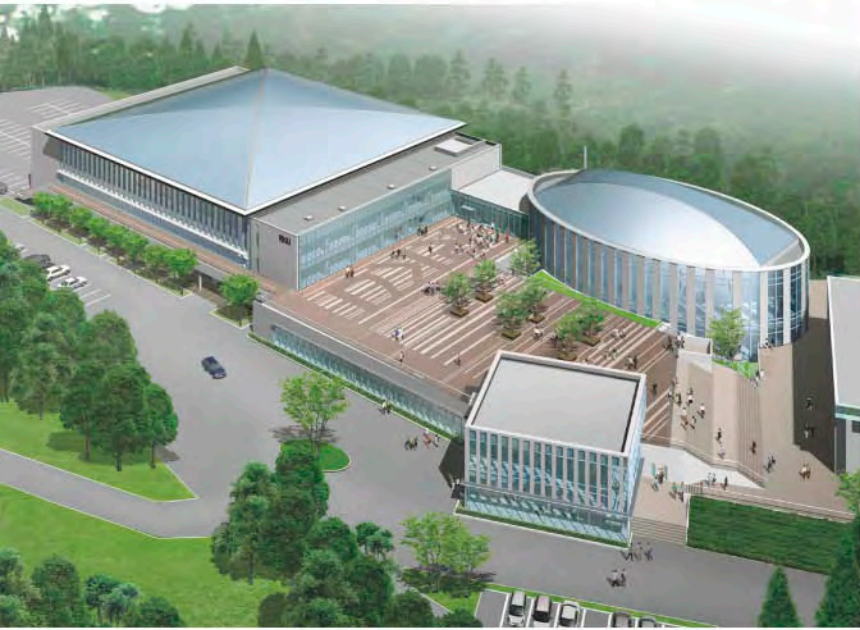
私の最近の研究テーマは、「地域産業における発展メカニズムの分析」です。こうしたテーマは経営学では、専ら製造業に焦点が当てられてきましたが、私は農業、サービス業との関係も射程に入れて研究しています。

日本はこれまで製造業という巨大なエンジンによって前進してきました。しかしそのエンジンの出力が弱くなってきたこと、そして製造業依存による環境破壊、大型ショッピングセンターの乱立などによる地域風土の画一化により、これまでダイヤモンドのような輝きを放っていた地域は次第に魅力や個性を失いつつあります。後世に魅力のある多様な地域風土を創造し、老若男女が希望を持てるような地域産業を育成するために、産業の壁を越えた連携が求められるのではないかと考えています。

趣味はジョギングで、月間走行距離300kmを目標としています。当面の目標はハーフマラソンに参加することです。

魅力ある地域と地域産業の創出

「馬場啓一のRKUウォッチング」8



実技と研究が行える総合スポーツセンターを有する大学は、実は世間に数少ないのです

「学生が主役」をモットーに、気持ちよく勉学に励むことが出来るようなキャンパス造り

「そのお手伝いをさせていただき、満足のいく仕事が出来ました。幸福な出会いだったと思います」

境との調和を目指しました。流通経済大学を代表する建物になったと思います」
 本学創設から約四十五年、清水建設は龍ヶ崎キャンパスのすべての校舎を手掛けてきた。石原氏は平成に入ってから担当として従事されている。「新松戸キャンパスも弊社が請け負い、私が担当しました。当社としても自信作ですね」
 そう言ってニッコリされた。「多目的室内練習場、ラケビー部室、さらには自強館もやらせていただきました。今回のプロジェクトは龍ヶ崎キャンパス全体の施設の方向性を示す重要な役割の一端を担うことになりました」

を目指す。そこに華やかさと明るさを、という児玉理事長の構想を見事に具現化した、素晴らしい仕上がりである。「山の上に造られたキャンパスですから、斜面は手付かずのままに緑を植え、花を育てる。キャンパス内は木の並木が続くサクラ・コリドールを設け、それと平行するスチューデン・モールやキャンパスプラザが、学生生活に彩りを添える。開学当初からのデザイン・コンセプトは着実に受け継がれていると思います」
 今回の施設の完成によって、それが益々充実したものになった。



これまで、多くの本学施設を手掛けられたのが石原政幸氏である。
 今般、スポーツ健康センター（通称アリーナ）の設計施工を請け負われた業界トップ清水建設の担当者だ。肩書きは設計本部 教育・文化施設設計部グループ長。
 まことに爽やかなお人柄で、流通経済大学はよき人材に巡り合えたと言いきださる。

「文科系の大学で総合体育館の設計部グループ長。」
 「アリーナとは観客席付きの競技場を意味します。正面には二メートル幅のステージを設け

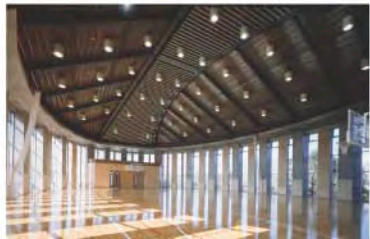
「二期工事で六四〇〇平米、今回の二期工事で四二〇〇平米、併せて約三二〇〇坪の巨大施設です。グリーンを随所から感じられるように、周囲の環



「スポーツ健康科学部創設を象徴する総合体育施設として、一期の屋内プールサブアリーナに引き続き、この（通称）アリーナは建設されました。竣工まで

「二期工事で六四〇〇平米、今回の二期工事で四二〇〇平米、併せて約三二〇〇坪の巨大施設です。グリーンを随所から感じられるように、周囲の環

清水建設株式会社・石原政幸さんに聞く
 スポーツ健康センターを手掛けて





基本的には、ともかく毎日野球をしていました。当時はまだ部の寮が今ほど整備されてはいなかったので、龍ヶ崎市内に一件家を借りて住んでいたのですが、いつも友達の家にご飯を食べに行ったり、それでお米をいただいで帰ってきたり。龍ヶ崎の人々の温かさが今でも印象に残っています。それから、ゼミは岡田ゼミでした。岡田先生は商法の先生でしたが、城山三郎の直木賞受賞小説『総会屋錦城』を学生に読むようにと薦めてくださいました。実は私の名前は、父が映画化されたこの作品に感激して、つけてくれたんです。岡田先生がご退官されるときに、思い出としてゼミの学生紹介に私を挙

げてくださったのは、嬉しかったですね。
大学卒業後は、どうされたのですか？
 四年生の時には、そのまま野球を続けようかと考える一方で、故郷の静岡に戻りたいという気持ちも強くありまして、結局、地元で工場のある一部上場重電メーカーに勤めることになりました。総務部に所属し、営業の仕事に就きました。当時は、パソコンがようやく社会に普及した、丁度NECの9801が開始された頃で、仕事は楽しかったですし、充実していました。パブルがはじけた平成三年頃でしょうか、会社の方針に納得できないと感じることがあり、それならばと自分で起業することにしました。ですから、私の場合は、最初から起業を考えて仕事をしていたということではないですね。
現在は、株式会社「ケイネット」の代表取締役としてご活躍ですが、「ケイネット」というのは、「錦城(Kinjo)」の「ネットワーク(network)」の略なんです。私は企業で仕事をしてきた頃から、ともかく人と関わることに大好きでして、今の仕事でも、資本は人であると考えています。私の会社の業務内容というのは、例えば、医療機関をインターネットで結ぶことによる情報の共有化や、官公庁における携

帯電話の回線の効率化といった、コイダイネターの仕事を中心です。つまり、単に商品を売るというよりも、それにコンテンツという付加価値をつけていくということですね。こういった仕事は、なによりも人と人とのつながりが大切なんです。どういう人にとってニーズがあるのかを把握し、それを上手に結び付けていくことでお互いの利点を作り出す、これは素晴らしいことですね。ですから仕事をやる上では常に、「まず人ありき」という姿勢で、人を大切にしています。
最後に流経大生にひとことお願いいたします。
 仲間を大事に、人を大切にしてほしいですね。私は、学生時代ずっと野球をやってきましたが、それを通じて社会を学びました。よく言われることかもしれませんが、野球というのは社会そのものなんです。それぞれに自分の持ち場があり、それに全力で取り組む。そして仲間が失敗したらそれを助ける。自分が失敗しても信頼できる仲間がいる。これは社会と同じ構造だと思っています。常にコミュニケーションをとりながらチームプレーができるということは、社会においても大きな力となると思います。それから、大学生活においては、常に夢を持つことも忘れな

お写真ををお願いすると、「では、社員と一緒に撮りましょうか」とみなさんで撮影することになりました。お話の通り、常に自分の周りにいる人を大切にする姿勢をお持ちで、温かいお人柄が感じられました。また、プライベートはどのようにお過ごしなのですか？と伺うと、「バイクや車も好きですし、ゴルフもやりますが」と前置きされてから、「でも釣りですかね。小さい頃から自転車で海に行って、投げ釣りをしてましたから」というお答えが返ってきました。お休みの日にはご自身の船を海に出して楽しめることが多いという、経営者とは別の一面も拝見することができました。



流経経済大学との出会いはどのようなものだったのですか？
 私は三島市の出身なのですが、高校は土浦日大で、野球部に所属していました。念願の甲子園出場も果たしました。日大にそのまま進学してもよかったですし、早稲田なども候補にあったので

すが、たまたま倫理の非常勤講師として前学長の野尻先生が教えにいらして、声をかけてくださったことが縁で、二人の野球部の仲間と一緒に流経経済大学経済学部経済学科に進学しました。
他大学でも野球選手として活躍さ

れる可能性があった中で、本学を選ばれたのですか？
 実は、入学前に当時の流経大の野球部を見学に行ったのですが、正直、そんなにレベルは高くなかったんです(笑)。ただ高校時代は一学年に一〇〇人以上の部員がいて、プレッシャ

ーがとても大きくて、一回エラーしたら、もう次は無いぞ、っていう感じでした。そういう形で野球を続けていくよりも、もっと楽しんで野球を続けていきたいという思いが強くなりました。流経大の野球部ならば、楽しんでものびのびと野球ができるのではないか



OB/OG訪問
立川が聞く
8

仲間を大事に、人を大切にしてほしいと思います。

田中錦城さん

(一九八二年 経済学部卒業)

今回のOB/OG訪問は、在学中は野球部で活躍され、卒業後は故郷の静岡県に戻り、現在は株式会社ケイネットの代表取締役としてご活躍されている田中錦城さんにお話を伺いました。

取材・立川和美(社会学部准教授)

新任教職員紹介

流通経済大学に本年4月から新たに着任した教員、職員を紹介します。



経済学部講師
杉山 和明

担当科目：
人文地理学
最終学歴：
名古屋大学大学院
文学研究科
博士後期課程修了
取得学位：
博士（地理学）



経済学部講師
小沢 佳奈

担当科目：
マーケティング論
最終学歴：
大阪府立大学大学院
経済学研究科
博士後期課程修了
取得学位：
博士（経済学）



社会学部准教授
田中 光

担当科目：
基礎技能（体育）
最終学歴：
日本体育大学大学院
体育科学研究科
体育科学専攻修了
取得学位：
修士（体育科学）



社会学部准教授
川崎 愛

担当科目：
医療福祉論
最終学歴：
日本女子大学大学院
社会福祉学専攻
博士課程前期修了
取得学位：
修士（社会福祉学）



社会学部教授
久塚 謙一

担当科目：
自然環境論
最終学歴：
東京大学大学院
農学系研究科
博士課程修了
取得学位：
博士（農学）



法学部講師
笹岡 愛美

担当科目：
商法（総則・商行為）
最終学歴：
慶応義塾大学大学院
法学研究科後期博士課程
単位取得退学
取得学位：
修士（法学）



法学部講師
尾内 隆之

担当科目：
政治学
最終学歴：
立教大学大学院
法学研究科後期課程
満期退学
取得学位：
修士（政治学）



社会学部講師
米原 立将

担当科目：
保育原理
最終学歴：
東京大学大学院
教育学研究科
修士課程修了
取得学位：
修士（教育学）



学務課（新松戸）
折山 俊樹

最終学歴：
流通経済大学
社会学部
社会学科卒業（41期生）
所属：ラグビー部



図書課（龍ヶ崎）
石坂 正男

最終学歴：
横浜市立大学文理学部
国文学専攻卒業
株式会社日通総合研究所
退職後、フリーエディタ
を経て



法学部講師
尹 敬勲

担当科目：
朝鮮（韓国）語
最終学歴：
1) 東京大学大学院 教育学研究科総合教育学専攻
博士課程単位取得退学
2) 早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 国際関係学専攻 博士課程修了
取得学位：
1) 博士（教育学）
2) 博士（学術）



学生相談室（両キャンパス）
谷津 修一

最終学歴：
流通経済大学社会学部
社会学科卒業（29期生）
／立教大学大学院
コミュニティ福祉学
研究科博士後期課程
地方行政職、保育福祉
専門学校講師を経て



就職支援課（龍ヶ崎）
増田 久美子

最終学歴：
流通経済大学
流通情報学部
流通情報学科卒業
（41期生）
所属：学生会



監査室（龍ヶ崎）
高林 邦男

最終学歴：
立命館大学
理工学部
数学物理学科卒業
日本トラック株式会社
を経て



——自転車通学されている
ようですが？
はい、ピンク色の自転車
に乗ってアパートから通学
しています。大学から三分

と近いのでとても便利です。
——日本語が流暢ですね、
どのくらい勉強されました
か？
父が日系企業で働いてい
たので、子どもの頃から身
の回りに日本語があふれて
いました。それでも本気で
勉強したのは高校二年生か
からです。
きっかけは私の通ってい
た韓国の高校と日本の秋田
県の高校が姉妹校で、ホー
ムステイのチャンスがあつ
たことです。最初、日本人

の高校生が私の家にステイ
して、そのあと、今度は私
が秋田県にホームステイし
て…とてもすばらしい経験
になりました。その人たち
とは今でもいい友達です。
当時は「のだめカンタービ
レ」というドラマが大好き
で、何度も何度も繰り返し
見ていました。それとJポ
ップもたくさん聞きました。
TVや音楽から、生きた日
本語を楽しく学ぶことがで
きたと思います。
——大学生活は楽しんでい
ますか？



はい、授業もちゃんと出
ています（笑）。今は、た
くさんの日本人の友達があ
ったので、これでも結構忙
しいんです。夕方はアルバ
イトがありますし、バンド
のボーカルも始めましたか
ら。でも、バイトが忙しく
てバンドの練習になかなか
行けないのが悩みです。
——「学生アドバイザー」
としても活躍されているそ
うですね。
学生アドバイザーは、こ
れからこの大学を受験しよ
うと考えている高校生や留
学生たちのために、オーブ
ンキャンパスや見学会の時
にガイド役をします。私は

まだ一年生ですけど、精
一杯、流通経済大学の魅力
を伝えられるようがんばり
ます。
——これからの夢について
教えてください。
将来、観光関係の仕事に
就くことを考えてこの大学
を選びました。具体的には
観光ガイドや通訳のような
仕事に興味があります。
今はまだ親からの仕送り
に頼った生活ですが、来年
は奨学金をもらって自立し
たいですね。



留学生紹介

学生アドバイザー として大学の 魅力を伝えたい

社会学部／国際観光学科／1年
金 民智 キム・ミンジ（韓国）

授業、友達、アルバイト、バンド活動、そして学生アド
バイザーと、忙しい日々を送っている金さん。上手な日
本語でインタビューに答えてくれました。

取材：齋藤 明（総務課）

第5号議案

2009年度 収支予算(案)に関する件

2009年度収支予算書

自 2009年4月1日 至 2010年3月31日

(金額単位: 千円)

項目	予算	備考
収入の部		
前年度からの繰越	18,416	
前年度の回収	2,000	
入会金	6,600	新入生1,400名(留学生160名)
会費収入	66,000	
計	72,600	
収入合計(A)	93,016	
支出の部		
運営活動費		
通信費	3,700	学報「RKU Today」送料ほか
印刷費	2,350	学報「RKU Today」印刷、総会案内印刷ほか
会議費	200	
事務費	4,900	
父母懇談会費	5,500	会場使用料、案内状・配付資料作成ほか
雑費	500	
小計	17,150	
後援費		
諸行事後援費	13,200	惜別会、卒業記念品ほか
小計	13,200	
就職活動費		
求人開拓費	760	求人のための大学案内作成ほか
就職指導費	8,500	業界説明会開催費、指導用学生配布資料作成ほか
小計	9,260	
課外活動振興費		
課外活動補助費	17,000	スポーツ安全協会傷害保険、課外活動用品ほか
大学祭・体育祭補助費	2,000	
クラブ顧問補助費	24,500	クラブ顧問添付補助ほか
小計	43,500	
環境整備寄付金	2,000	
支出合計(B)	85,110	
翌年度へ繰越(A-B)	7,906	



第6号議案

後援会会則の一部改正(案) に関する件

流通経済大学後援会会則の一部改正(案)

改正(案)

第14条

(3) すでに普通会員となっている者で、新たに入学者がいる場合は、申請に基づき、入会金を免除し、会費を減額することができる。

(附則)

7. この改正は、平成21年4月1日から施行する。

第3号議案

2009年度 役員選出に関する件

次の方が2009年度の役員に決定いたしました。

会長 佐々木 孝 夫
副会長 高野 郷 美
" 沼崎 博 康
" 海老原 雅 枝
監事 神 永 健
" 大竹 範 男 以上

第4号議案

2009年度 事業計画(案)に関する件

2009年度 事業計画

2009年度は、本後援会の目的(会則第3条)及び事業(第5条)にそって、次の1~5に掲げる事業を推進していくものとする。

1. 後援会会員(父母)と大学との連携

(1) 父母懇談会の実施に伴う諸費用の援助

開催都市	実施日
福岡	6月20日(土)
大阪	6月21日(日)
新潟	6月27日(土)
長野	6月28日(日)
新松戸キャンパス	7月4日(土)
龍ヶ崎キャンパス	7月11日(土)
宇都宮	7月12日(日)
山形	7月18日(土)
郡山	7月19日(日)
中国・大連	未定
合計10会場	

(2) 学報の発行及び費用援助

大学と父母を結ぶ広報誌「RKU Today」を季刊で発行する。

2. 就職活動への援助

(1) 求人開拓に対する援助

(2) 就職指導に関する援助

3. 課外活動に対する援助

(1) 文化系、運動系クラブに対する援助

(2) 課外活動関係設備を充実するための援助

(3) 課外活動傷害保険料の全額負担

(4) 大学祭(龍ヶ崎キャンパス・新松戸キャンパス)等諸行事への援助

4. その他の援助

(1) 環境整備への援助

(2) 卒業生に対する卒業記念品の贈呈、惜別会の開催

5. 後援会奨学金

後援会奨学金の貸与

以上



2009年度 後援会総会

2009年度の入学式が行われた4月1日に、2009年度後援会総会が開催され、大場敏彦学生部長の挨拶の後、当日の議案について審議され、すべて承認されました。

第2号議案

2008年度 収支決算(案)に関する件

2008年度収支決算書

自 2008年4月1日 至 2009年3月31日

(金額単位: 円)

項目	予算(a)	実績(b)	増減(a-b)	備考
収入の部				
前年度からの繰越	16,180,815	16,180,815	0	
前年度の回収	0	2,000,000	△ 2,000,000	
入会金	6,455,000	6,765,000	△ 310,000	入学者1,347名(うち外国人留学生113名)加えて2年・3年編入生6名
会費収入	64,416,000	64,408,750	7,250	
利息収入	0	129,272	△ 129,272	預金利息
計	70,871,000	71,303,022	△ 432,022	
収入合計(A)	87,051,815	89,483,837	△ 2,432,022	
支出の部				
運営活動費				
通信費	2,800,000	3,158,127	△ 358,127	総会通知、学報「RKU Today」等郵送料
印刷費	5,966,000	1,417,290	4,548,710	上記印刷費等
会議費	200,000	160,418	39,582	
事務費	4,900,000	4,869,000	31,000	
父母懇談会費	4,000,000	5,425,885	△ 1,425,885	父母懇談会の会場費等
雑費	500,000	423,080	76,920	振込手数料他
小計	18,366,000	15,453,800	2,912,200	
後援費				
諸行事後援費	8,050,000	7,092,375	957,625	惜別会費用、卒業記念品代他
小計	8,050,000	7,092,375	957,625	
就職活動費				
求人開拓費	910,000	500,780	409,220	就職用大学案内作成費等
就職指導費	8,100,000	7,219,127	880,873	就職説明会等補助
小計	9,010,000	7,719,907	1,290,093	
課外活動補助費	20,000,000	12,779,332	7,220,668	クラブへの補助、ランド用品購入
大学祭・体育祭補助費	1,500,000	1,563,550	△ 63,550	つくばね祭、青春祭への援助
クラブ顧問補助費	25,000,000	22,448,379	2,551,621	遠征、合宿等の旅費等の補助
小計	46,500,000	36,791,261	9,708,739	
環境整備寄付金	2,000,000	2,000,000	0	
前年度	0	2,000,000	△ 2,000,000	
税金	0	10,119	△ 10,119	
基金増	0	0	0	
支出合計(B)	83,926,000	71,067,462	12,858,538	
翌年度へ繰越(A-B)	3,125,815	18,416,375	△ 15,290,560	

財産目録 (2009年3月31日 現在)

(金額単位: 円)

項目	金額	摘要
(一般資金)		
現金	295,196	手許残高
預金(常陽銀行 龍崎支店)	18,121,179	期末残高
小計	18,416,375	
(育英資金)		
定期預金(茨城県信用組合 佐貫支店)	10,000,000	育英資金
定期預金(常陽銀行 龍崎支店)	10,000,000	育英資金
定期預金(常陽銀行 龍崎支店)	10,000,000	育英資金
定期預金(常陽銀行 龍崎支店)	10,000,000	育英資金
定期預金(茨城銀行 柏支店)	10,000,000	育英資金
定期預金(茨城銀行 柏支店)	15,000,000	育英資金
定期預金(茨城銀行 柏支店)	5,000,000	育英資金果実
定期預金(茨城県信用組合 佐貫支店)	3,770,326	育英資金果実
育英資金貸付金	2,300,000	6名
小計	76,070,326	
合計	94,486,701	
負債の部	0	
差引正味財産	94,486,701	

監査報告書

流通経済大学後援会会則第10条第3項の規定により、2008年度流通経済大学後援会収支決算について諸帳簿を監査した結果、その内容についてはいずれも正当なものと認め、第13条の規定により報告いたします。

2009年3月25日

監事 沼崎博康
監事 海老原雅枝

第1号議案

2008年度 事業報告 に関する件

2008年度 事業報告

2008年4月1日開催の後援会総会において、ご承認いただいた事業計画にもとづいて、次のとおり2008年度の事業を実施した。

1. 後援会会員(父母)と大学との連携

(1) 父母懇談会の開催状況

開催都市	実施日	父母出席者数
倉吉	6月21日(土)	8名
岡山	6月22日(日)	9名
高崎	6月28日(土)	19名
静岡	6月29日(日)	25名
龍ヶ崎キャンパス	7月5日(土)	251名
新松戸キャンパス	7月12日(土)	305名
熊本	7月13日(日)	20名
福島	7月19日(土)	38名
盛岡	7月20日(日)	31名
中国・大連	6月15日(日)	52名
10会場		759名

(2) 学報の発行及び費用援助

大学と父母を結ぶ広報誌「RKU Today」を4回発行した。

2. 就職活動への援助

後援会発足以来の重点施策の一つである大学の求人開拓や就職指導に関して全面的に協力し、併せて費用の一部を負担した。

3. 課外活動に対する援助

- (1) 文化系、運動系クラブに対する援助
大学の課外活動振興が円滑に推進できるよう、文化系、運動系クラブに備品を購入する等の援助をした。
- (2) 課外活動関係設備を充実するため援助した。
- (3) 課外活動傷害保険料を全額負担した。
- (4) 諸行事への援助
大学恒例の大学祭である龍ヶ崎キャンパス「つくばね祭」、新松戸キャンパス「青春祭」等の行事に対して援助金を交付した。

4. その他の援助

- (1) 環境整備への援助
- (2) 卒業生に対する卒業記念品の贈呈、惜別会の開催
3月20日の卒業式終了後、卒業生の門出を祝って、卒業生、教職員、父母を交えての惜別会を開催し、卒業生全員に記念品(置時計)を贈呈した。

以上

オープンキャンパス

5月30日(土)・6月27日(土) 龍ヶ崎、6月13日(土) 新松戸でオープンキャンパスが開催されました。先生方によるハンバーガークイズ(身近な題材を取り上げたもの)や学部学科紹介、学生アドバイザーによる学生生活の紹介などが行われました。



小学生たちが来学

6月18日(木)、龍ヶ崎小学校の2年生児童21名が、体験学習の授業として龍ヶ崎キャンパスを訪問しました。高層階の校舎から眼下に広がる龍ヶ崎の街を見下ろして歓声をあげた後、大学生の講義の様子や、学生食堂、図書館を見学し、積極的に質問をしていました。



就職ガイダンス

4月から、毎月3年生を対象にした就職ガイダンスが開催されています。4月は「就職への心構え」、5月は「自己分析対策」、6月は「ゼミ別・就職活動の諸手続き」という内容です。ガイダンスでは、就職活動に役立つさまざまな情報・支援について説明がされました。



[編集後記]

●今号の特集は、RKU WEEKについてである。

RKU WEEKは2007年度から学部の新入生が大学教育へ円滑に移行できるように実施している導入教育の名称で、今年度は入学式の翌日2日から9日まで実施した。

本学への理解を深め帰属意識を涵養すること、学習意欲を喚起し仲間作りの場を提供すること等をメインに据えた企画である。

また、今年度は、今まで以上の成果をあげることを目指して、これまでスポーツ健康科学部の

みで実施してきた「自己実現プログラム」を他の学部でも採り入れ全学部で実施した。

●高校生から大学生になるということは、いろいろな面で大きな変化が生じる。ある程度はわかっている具体的な説明を聞き理解するまでは不安である。その不安を取り除き、さらに大学生活に夢と希望を見いだすことができれば大成功である。

これからも新入生が円滑に大学教育に移行できるようにRKU WEEK実施委員会を中心に本学をあげて取り組んでいかなければならない。(編集子)

入学式

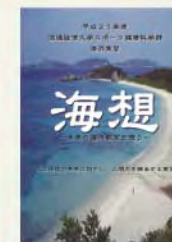
4月1日(水)、龍ヶ崎キャンパス講堂にて2009年度入学式が挙行されました。

満開の桜の下、学部生1,440人、大学院生43人をつめかけた父母約1,000人が祝福しました。

式終了後は、吹奏楽部による演奏、チャリティー部による演技が披露され、新入生を歓迎しました。



海浜実習



6月29日(月)から7月5日(日)の間、スポーツ健康科学部の学生が2班に別れて沖縄渡嘉敷島にて海浜実習を行いました。

青春祭

6月20日(土)・21日(日)の2日間にわたって、新松戸キャンパスが開校して5回目となる「青春祭」が開催されました。龍ヶ崎キャンパスの「つくばね祭」と並び、学生主催のイベントです。

20日は芸人を招いてのトークショー、21日はお笑い芸人の方々のライブも開催され、学生をはじめ、近隣にお住まいの方など大勢の参加で賑わい、大盛況のうちに終了しました。

また21日には公開講座「考えよう! 危機の時代の資産防衛」(講師:長瀬 毅経済学部准教授)も同時に開催され、多くの方が参加されていました。



付属柏高校 校外学習

流通経済大学付属柏高等学校の校外学習が行われました。

4月21日(火)、付属柏高等学校2類と1類の一部の生徒が大学見学会を行い、スポーツ健康科学部の田箕先生・田畑先生の模擬講義に真剣に取り組んでいました。

4月22日(水)3年生及び父母の方が日本通運本社を見学しました。生徒たちは、仕事の現場や施設を見て周り、日本通運の概要について説明を受けました。また、流通経済大学の5期生であり、日本通運営業部長 安藤 伸樹氏の講演に真剣に耳を傾けている姿が印象的でした。



RKU Schedule 2009年7月～10月

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 7/4 父母懇談会(新松戸)
- 7/11 父母懇談会(龍ヶ崎)
- 7/15 春学期授業終了
- 7/18 オープンキャンパス(龍ヶ崎)
- 7/25 オープンキャンパス(新松戸)
- 7/16～29 春学期定期試験
- 7/30～9/24 夏季休業期間
- 7月 第4回就職ガイダンス

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 8/1 オープンキャンパス(龍ヶ崎)
- 8/8 オープンキャンパス(新松戸)
- 8/22 オープンキャンパス(新松戸)
- 8/29 オープンキャンパス(龍ヶ崎)

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

- 9/12 オープンキャンパス(新松戸)
- 9/19 オープンキャンパス(龍ヶ崎)
- 9/25 秋学期入学式・秋学期授業開始
- 9/26 春学期卒業式

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

- 10/3 オープンキャンパス(龍ヶ崎・新松戸)
- 10月 第5回就職ガイダンス
- 10月 4年生内定者による就職活動体験発表会



オープン キャンパス 開催中

開催時間
11:00～
15:00

龍ヶ崎キャンパス 茨城県龍ヶ崎市平畑120
7/18(土) 8/1(土) 8/29(土) 9/19(土) 10/3(土)

新松戸キャンパス 千葉県松戸市新松戸3-2-1
7/25(土) 8/8(土) 8/22(土) 9/12(土) 10/3(土)

入試相談会も開催中です

- 毎週土曜日に両キャンパスで開催(10:00～14:00)
- 個別にゆっくり説明を受け、相談することができます。

[メニュー]

- 大学・学部学科、入試概要紹介 ● 個別相談
- AO入試エントリー・推薦入試作文指導
- 先輩学生とのフリートーク
- キャンパスツアー

お問い合わせ: **TEL 0297-60-1156 (入試センター直通)**
<http://www.rku.ac.jp/go> ※受験生向けスペシャルサイトでも情報発信中!

RKU

流通経済大学広報誌 **RKU Today vol.8**

2009年7月発行

編集・発行 学校法人日通学園 流通経済大学企画広報室

茨城県龍ヶ崎市平畑120 〒301-8555

TEL: 0297-64-0001(代表)

